

国基建設株式会社



双頭開先機を導入し生産性向上・コスト削減で増産体制を構築する



高精度高速H型鋼開先加工機



操作盤

開先加工機の加工能力不足により、生産システムを改善する必要があった

1次加工ラインの開先加工工程で機械の加工能力不足と片面ずつしか加工できないことによる材料反転の手間により、次工程の組立溶接作業への材料供給が滞り、待ち時間が発生していた。これに加え加工精度も悪くなり、溶接作業にも悪影響を与えるようになっていたため、生産システムの改善を図る必要があった。



通常切削（開先加工）

変形切削

こんな会社です



鉄工部部長 寒水 尚

現場は大隅半島一円 ～受け継ぐ「元気」と「安心」～

当社は、大隅半島一円を主なエリアとする土木部・建築部・鉄工部で構成する総合建設業です。普通のゼネコンは土木と建築がメインであり、鉄骨工事は下請けに発注する形態が多いが、社内加工という強みを持つ県内でも数少ない建設会社です。女性目線で現場の改善点や良好点等をあげて現場の安全面、現場事務所の衛生面をサポートする“けんせつ小町「熱姫隊」（あつひめたい）”や毎月第二火曜日に会社全体でボランティア清掃する“道路サポート「ピカピカ会」”による地域貢献にも取り組んでいます。

材料供給の迅速化を図るため、高精度H型鋼開先加工機を導入



加工現場風景

生産システムを改善するために高精度H形鋼開先加工機を導入した。同設備は加工能力が高く、両面同時に加工できるため、生産効率が格段に向上し、課題であった次工程（組立溶接工程）への材料供給の滞りも解消した。また、加工精度も高く、塗装工程にも好影響をもたらし、品質の向上にもつながった。

大幅な時間短縮により、材料の供給がスムーズになった

高精度H型鋼開先加工機の導入前は開先加工工程で時間がかかっていたが、導入後は部材の大きさにかかわらず切削できるようになり、開先加工工程だけでも60%近い時間短縮につながり、次工程（組立溶接工程）への材料供給が迅速化した結果、生産システムの改善が図られた。その後、前工程見直しが必要となり、自己資金で最新の穴あけ機を導入。これにより開先加工工程への流れが更にスムーズとなり、1次加工ラインの効率が20～30%向上した。今後は大型物件の確実な受注を目指していく。



建方中の牛舎

「安心安全で質の高い製品をお客様に届ける」ことで受注を確保していく



けんせつ小町「熱姫隊」

新型コロナの影響からか物件の見積もりが減少しており、来年以降平年並みの設備投資や工場等の新築工事の発注があるか心配している。また、関東などの大都市において物件の減少から過当競争による安値受注が出てきており、地方まで波及すると大きな影響を受けると懸念している。このような中、鋼材が横ばいから値上げの傾向にあり、加工単価が上がると収益を圧迫する可能性がある。鉄工部としては、安心安全で質の高い製品をお客様に届けることで受注を確保していく方針である。

info

国基建設株式会社
代表取締役 下小野田 隆

事業実施場所
〒893-1602
鹿児島県鹿屋市串良町有里3130
TEL 0994-63-2233
FAX 0994-63-3942
<http://kokki-kk.jp>

設立 昭和29年4月
資本金額 2,000万円
従業員数 78名
業種 総合建設業



社屋